



〈交通計画① 2園の間の道路について〉

小平地区、小金井地区の児童養護施設が、別々の施設であることが明らかとなるよう行政指導があったため、既存の歩道を拡幅し、自動車の通行する道路を園内ロータリーから新設道路まで通す。

〈交通計画② 車両の侵入口について〉

正門からの車両侵入ルートは現況のルートである図中ルートAを維持するか、新たに建設する小金井地区地域支援センターの南側に新たにルートBを設置するか現在検討中である。仮に車両ルートBを採用した場合、ルートAは歩行者のみのルートとなる。

〈交通計画③ ロータリーおよび駐車場〉

現況の駐車場が解体撤去となるため、新たな駐車場を計画する。小平地区と小金井地区の間にはロータリー・車寄せを設け、車両からの乗り降りは両側の園からできるように計画する。

〈交通計画④ 園舎ごとの駐車スペースへのルート〉

改築後、園舎ごとに2台程度の駐車スペースを設置する。駐車スペースへは、新設道路から2園の間の道路、園内通路を経てアクセスするよう、外構を計画する。

〈交通計画⑤ 既存の園内歩道を尊重した道の計画〉

既存の児童園舎は、丘をL字に囲うように配置され、その間は歩道で繋がれている。子どもたちが歩く歩道は動線として、そして養育の場として重要な位置づけにあり、本計画では小平地区の既存歩道を最大限残し、かつ小金井地区へと連続させ、園舎配置としては一体感のある配置を目指す。

〈土地利用計画① 丘の計画〉

既存の児童園舎は、丘をL字に囲うように配置され、日常生活の移動の場、遊び・交流の場として丘は重要な位置づけにある。本計画では丘などの既存地形を可能な限り残し、加えて小金井地区においても丘を設けることとする。小金井側においては丘は児童園舎と地域支援センターを緩く遮る役割も果たす。

〈土地利用計画② 解体後の空地の遊び場への利用〉

合歓の舎が建っている土地は、学園内で特に標高が低く、浸水被害が想定される土地であり、新たに建物を計画しないエリアとする。児童らの既存の遊び場である丘と小グラウンドをつなぐ新たな遊び場としての活用を検討している。

〈東京サレジオ学園における重要な視点場〉

既存の学園正門から入り、ドン・ボスコ記念聖堂の方向へ向かう風景は、東京サレジオ学園を象徴するものであるとともに、学園の卒業生にとっても記憶に残るものである。小金井地区の児童園舎配置計画においても、正門から聖堂に向かって視線が広がっていくように配慮することとする。

〈インフラ計画 インフラ引込みルートについて〉

電気については東側の道路より高圧電線を引込み、小平地区内のキュービクルより小平、小金井地区に分岐し低圧供給する。下水道、ガスについては、2地区の北に新設される道路から引き込み、敷地内で小平、小金井地区に分岐し供給する想定で計画している。ただし、今後の協議次第で計画が変更となる可能性がある。上水道については既存給水配管より分岐引込（敷地内井水利用有り）。

〈雨水排水計画〉

児童園舎計画範囲近辺で発生している浸水被害への対策として、敷地内雨水排水計画を検討している。具体的には北側に新設される道路に新たに雨水排水管を整備することや、敷地内に遊水地を整備することを検討中である。

